

**コミュニティ(宝くじ)助成事業助成金で
備品を整備しました**

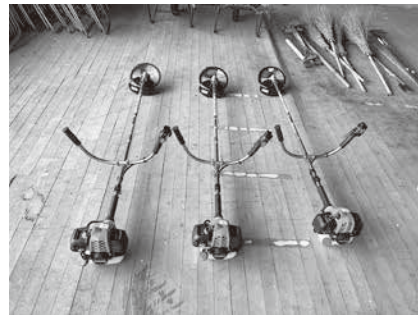
この事業は、（一財）自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として、地域が行うコミュニティ活動の更なる推進を図るための備品等を整備するもので、これにより地域社会の健全な発展と住民福祉の向上が期待されます。

このほど、令和6年度コミュニティ助成事業に採択された東野自治会が、地域のイベントや清掃活動で使用する備品を、宝くじの助成金で整備しました。

今回整備された備品

○東野自治会

- ・草刈機：1台
- ・除雪機：1台
- ・アルミブリッジ：1セット
- ・ノートPC：1台
- ・プリンター：1台
- ・刈払機：3台
- ・ソフトコーン：14個
- ・コーンバー：7本



大きく育て! 深浦ワカメ

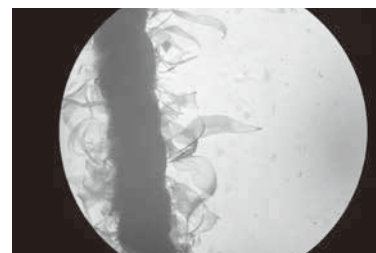
今年も深浦町海藻類採苗センター（吾妻沢）で町が生産した養殖ワカメ用の種苗を、11月12日（火）、深浦漁業協同組合に出荷しました。

この種苗は、5月にネカブから出た胞子を専用の糸に付着させたもの（種糸）を、芽が5mmくらいになるまで約半年間水槽で培養したもので、無事たくさんの種苗を確保することができました。

深浦漁協職員は「このワカメは来年の春に収穫できるため、漁業者の所得向上につながっている。今後も続けていきたい。」と話していました。今後、ワカメの種糸は、漁業者によってロープに巻かれて海で養殖され、来年の3月頃に収穫されます。深浦漁協では30年以上前からワカメ養殖に取り組んでおり、各地に出荷するほか、つるつるわかめ等にも活用されています。



ワカメの種苗を出荷



ワカメの芽

第20回 文化祭作品展



公民館で行われた陶芸体験

11月2日と3日の二日間、深浦町公民館、ふれあいと創造の館、町農村環境改善センター（北金ヶ沢会館）の3か所同時に文化祭作品展が開催されました。書道や陶芸、絵画など、サークル活動で制作した作品のほか、保育園児や小学生によるかわいらしい作品、町民が撮影した写真などが各会場で展示されました。

今年も深浦町公民館とふれあいと創造の館で食堂部門も開設され、そばやうどん、カレーなど数種類のメニューが用意されました。会場によっては、陶芸体験やお茶会、フリーマーケット、よさこい演舞などのイベントも開催され、来場者を楽しませていました。



ふれあいと創造の館でお茶を味わう来場者



農村環境改善センターの展示作品



大正琴クローバーの会と修道小学校の児童による演奏



ねぶた踊り普及会



踊りやカラオケなどを披露する出演者たち

第19回 ふかうら芸能祭

11月16日に深浦町文化協会主催のふかうら芸能祭がフィットネスプラザ「ゆとり」で開催されました。会場には約230人の観客が集まり、出演者へ拍手や声援を送りました。

ステージ上では、深浦町文化協会の会員や町民の方々が、日頃の活動の成果を披露しました。踊りやカラオケ、大正琴、オカリナなど、深浦町文化協会の会員8組、個人5人の皆さんが延べ25演目を行いました。会場は大いに盛り上がりました。